

かもめ便り

社会福祉法人 小渦会 理事長 高橋 徹
鳴門シーガル病院 院長 福永 明広

シーガル病院

検索

記事紹介

rTMS療法導入	1面
避難ルート視察	2面
配食サービス	2面
ジョイナス開所	3面
リワークデイケア開設	3面
手作りマスクの制作	3面
Dr.'sエッセイ	4面

【ホームページ】 <http://k-seagull.jp/> 【所在地】 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦字阿波井57番地 【TEL】 088-688-0011 (代)

シーガルニュース

新しいうつ病治療「rTMS療法」を導入しました

4月より、うつ病治療の一つとして「rTMS療法（経頭蓋磁気刺激療法）」を導入いたしました。rTMS療法はうつ病の新しい治療方法で、微弱な電流（渦電流）により脳の神経細胞を刺激して脳機能を調整する治療方法です。この度の導入により鳴門シーガル病院は、中四国で初めて、保険を適用してrTMS療法が受けられる病院となります。

rTMS療法の対象となる方

- ①うつ病の診断を医療機関で受けている方
- ②現在、1種類以上の抗うつ薬の服薬治療を受けている方
- ③心理検査で中等度以上のうつ病と診断できる方
- ④少なくとも6週間の入院が、時間的・経済的に可能な方
- ⑤てんかんの既往がない方
- ⑥入院中、治療スケジュールが変更となる可能性があります。それを了承していただける方
- ⑦入院中の服薬遵守を約束していただける方
- ⑧希死念慮（自らの手で死にたいと思う気持ち）まで至っていない方



当院での治療について

治療効果を高めるため、入院治療が原則となります。入院期間中は個室病床（机・ロッカーなどの家具、シャワー室、洗面台、トイレ、エアコン、ナースコール、Wi-Fi環境）で入院していただけます。



詳細につきましては、当法人内の主治医、または鳴門シーガル病院にお電話でご相談ください。
鳴門シーガル病院 088-688-0011 (代)



鳴門シーガル病院
rTMS療法関連ページ
はこちらからアクセス
できます。



シーガルニュース

災害時緊急避難ルートへの視察

3月25日(水) この1年間で入職した職員を対象に、災害時緊急避難ルートへの視察を行いました。

当院の裏山を登るルートで、頂上付近にある旧鳴門ハイツまで行きます。道中は急勾配の坂もありましたが、約20分間で登ることができました。



旧鳴門ハイツに到着後、衛星携帯電話とトランシーバーの通話訓練を行いました。初めて使用する方が多かったですが、当院で待機しているスタッフとスムーズに通話ことができました。下山後には、ライフラインが寸断された際の対応方法について視察と訓練を行い、今回の訓練は終了しました。

当院では今回の訓練以外にも、定期的に避難訓練や消火訓練、安否確認メール送受信訓練を行っております。職員の防災意識がさらに向上するよう、今後も努めてまいります。



地域交流

配食サービスを実施しました

4月7日(火)と5月8日(月)鳴門市瀬戸町の堂浦地区に配食サービスを行いました。

年に数回、堂浦地区と明神地区にお住いの高齢者の方を対象に、お弁当をお配りしております。

今回は、4月7日には幕の内弁当。5月8日には洋風弁当をお配りし、ご好評いただきました。今後も、直接お声掛けをしながらお届けできるように、続けていきます。



シーガルニュース

多機能型支援事業所 ジョイナスが開所しました

多機能型支援事業所「ジョイナス」が、4月に開所いたしました。「ジョイナス」は、就労継続支援B型事業、就労移行支援事業、特定相談支援事業の3つの支援事業を行っております。

利用者の方に『安心』『楽しい』『生きがい』を実感していただける事業所となるよう、努めてまいります。詳細につきましては、下記連絡先にお問い合わせ下さい。

住所：鳴門市撫養町小桑島字前浜179-9

電話：088-685-8870



シーガルニュース

徳島シーガルクリニックにて、リワークデイケア施設が開設しました

5月13日（水）徳島シーガルクリニックにて、リワークデイケアを行う施設が開設されました。

「リワーク」とは、気分障害などの精神疾患が原因でお仕事を休職されている方を対象に、職場復帰に向けたリハビリテーションを行うことです。詳細につきましては、下記連絡先にお問い合わせ下さい。

住所：徳島市寺島本町東1丁目30番1

電話：088-652-6811（不通の際は 088-652-6837）



手作りマスクの制作について



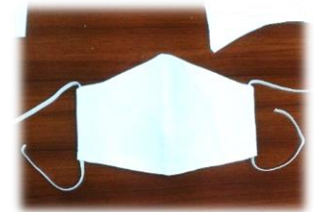
多機能型支援事業所 ジョイナスでは、手作りマスクを作成し販売しております。その制作工程について掲載いたします。



①型紙に合わせて型を取り（表地・裏地各左右計4枚）、生地を裁断します。



④ゴムの通し口からゴムを通せば完成です。



②4枚の生地を縫い合わせ、表側になるようにひっくり返します。



大人用



子供用

大人用・子供用 それぞれに様々な色や柄のマスクを制作しています♪



③キレイに形を整え、押え縫いをしたのち、両端にゴムの通し口を作ります。



多機能型支援事業所 ジョイナスでは、この他にも感染対策用品として、フェイスシールドや防護衣の製作も行っています。お気軽にお問い合わせください。



徳島県三好市山城町の山中に「賢見(けんみ)神社」という名前の神社が存在する。国道192号線を走っていると看板が出てくるので目にされた方もいるかもしれない。

筆者が賢見神社のことを初めて知ったのは研修医として徳島大学精神科で研修をしていた時である。県西部の出身である若い女性が入院されていて、その診断が「犬神憑き」となっていたので純粋に不思議な思いをしたことを覚えている。筆者は岡山県出身であり、横溝正史の「犬神家の一族」は岡山県を舞台にした話であったため、よけいに惹かれてしまったのかもしれない。

その女性は普段はおとなしいが、突然興奮して奇妙な言葉を叫んで暴れだすことがあった。今から考えれば統合失調症や解離性障害などの診断もありうる気がするが、

■ 駆け出しの研修医であった当時は、「そんな病名もあるのか。」と納得するしかなかった。そしてその人の病歴の中にやたらと出てきたのが賢見神社である。それ以来、心の片隅でずっと気になってはいたが、なかなかそこを訪れる機会に恵まなかった。

■ 数年前、高知に行った帰りに思い切って立ち寄ってみることにした。くねくねした狭い山道を数十分かけて登り切り、点在する小さな山上の集落の奥に神社は存在していた。夕方の境内は人気もなく暗く寂しい雰囲気であった。

■ 神社の案内板には「四国の南東部においては、古くから犬神憑きと呼ばれる動物霊による憑依・呪い伝承があり、人格の変化や手足の震え、突然の高熱などの医学的に説明の難しい病が引き起こされると考えられてきました。“犬(狗)”とは、いわゆるペットと

■ して知られる動物ではなく、人にとり憑き不幸を運ぶ動物霊の総称です。これを打払う唯一のお宮として賢見神社が信仰の対象となってきました。」とある。

■ 何らかの風土病を連想させる記述であるが、そんなことより「仁賢天皇の三庚午年九月(五世紀末)」と書かれた縁起の方が気になった。飛鳥以前の神話時代にいったい誰が何のためにこの山奥にわざわざ神社を作ったのだろうか。古代ロマンという謎がまたひとつ増えてしまった。精神医療に携わる人なら一度行かれてみることをお勧めしたい。

医師 澤田和之



【編集後記】

新規事業のスタートに伴い、その内容を中心に掲載いたしました。

新型コロナの影響が早く沈静化し、次号はより多くの催し物を掲載できればと思っております。

次号(『かもめ便り』第23号)は、2020年8月に発行の予定です。

広報委員会

社会福祉法人 小湊会URL



鳴門シーガル病院 交通案内

- JR鳴門駅から「北泊・堂浦行」徳島バスで堂浦(どうのうら)下車(所要時間20分)

- 直営渡船利用 (所要時間2分)

◎ 渡船(無料) 運航時間

午前7時30分から午後5時20分まで

定時運航(10分~30分間隔)しています。

TEL088-688-0011(代)

